

Company data

塾長

松山 幾男

香川県高松市出身。高校進学を機に上京した後、地元企業で営業職を長年務める。退職後、2014年1月に「個別指導学院ヒーローズ」のフランチャイズとして「古高松校」を開校した。小学生の頃から野球を始め、現在も草野球をするほどの野球好き。

Personal data



褒めて成績を伸ばす個別指導 学習を通じて人間力も育む

今岡 「個別指導学院ヒーローズ」のフランチャイズとして学習塾を開いていらっしゃるようですが、もともと起業願望はお有りだったのですか？

松山 はい。特に人材育成に興味がありましたね。それで「私の力で人の能力を伸ばしたい」という想いのもと、たどり着いたのが学習塾だったんです。学習塾というのは地域密着型ですので、私の地元でもある高松市に貢献できますし、そして何より子どもたちの成長を手助けできるという点に魅力を感じました。

今岡 生徒さんの成績が良くなっていくのを間近で見られるとなれば、松山塾長の腕の見せ所でもありますね。

松山 その点に関しては、個別指導学院ヒーローズは教材や指導方法などの自由度が高いということもあり、当塾では厳

選した最新の教材を使用しつつ、生徒が講師へすぐに質問できるような雰囲気づくりも実現しています。また当塾では小・中・高校生を受け入れており、人間として大きく成長するこの時期に、社会で立派に活躍できる人間性を身に付けられるよう、日頃から挨拶や整理整頓などの指導にも力を入れているんですよ。

今岡 なるほど。御塾では受験勉強だけでなく、社会常識を学ぶこともできると。では、生徒さんへの指導において心がけておられることは？

松山 「褒める」ということを意識しています。例えば、英国数理社の5教科全体の点数が前回より下がっていたとしても、苦手な科目が1点でも上がっていれば、その点をきちんと取り上げて「この難しい問題をよく解けたな」と言葉に

して伝えるようにしています。また、勉強することの意義もしっかりと話しており、たとえ学校の勉強が将来の夢に直結しなくても、「継続して勉強することになりたい自分になる」という社会に出ても重要なことを教えているんです。今岡 それは素晴らしいですね。野球の世界でも学ぶことは本当に大切に、例えば打率3割の打者も7割の失敗から学べるかどうかで、その後のプレーが変わってくるんですよ。

松山 それはよく分かります。中学生の場合、高校進学は当人たちが初めて決める進路でもありますから、失敗で挫折してしまう生徒も中にはいます。ですが、失敗と向き合うことは大事だと思うんです。失敗をしたとしても違う選択肢を選ぶなど、可能性は十分にあるのですから。

今岡 そうした精神面での厚いフォローがあれば、生徒にとって御塾は心のよりどころになるでしょうね。

松山 ありがとうございます。やはりこれまで分からなかった問題を自力で解けるようになることは素晴らしいと思うんです。そうして自力で苦難を乗り越えていく強さを社会人になっても備えてほしい。そのためにも当塾では今後も、人間形成の場としても充実した環境を提供していきますよ。

Guest Comment

今岡 誠(野球評論家)



松山塾長の座右の銘は「完全燃焼」とのこと。授業に必死に臨んでいる生徒の学ぼうとする情熱を目にすると、指導者としてその生徒の成績を伸ばしてあげたいのだそうです。起業された時の志を買き、今後も多くの子どもたちを成長させていってください。